

容量市場システム(実需給期間機能)における
長期脱炭素電源オークション対応フェーズ1
及び機能改修に係る基本設計業務委託の実施について (案)

1. 本委託の概要

容量市場システム(実需給期間機能)について、長期脱炭素電源オークション制度への対応、及び業務処理の効率性や正確性の確保に資する機能改修を目的とした設計開発業務が必須となった。これを受け、ソフトウェア機能の改修に向けて、2025年11月19日に開催の第540回理事会第6号議案で議決された「容量市場システム(実需給期間機能)における長期脱炭素電源オークション対応フェーズ1及び機能改修に係る要件確認業務委託の契約締結について」を実施し、要件確認工程が完了した。これにより開発仕様が確定したことから後続の基本設計工程を実施する。

2. 調達方法

(1) 調達先選定

随意契約

【理由】本システムは多くの制度変更へ対応しながら運用されており、機能拡張・改修には制度、業務および現システムに関する深い知識が必要なため、現状本システムの開発および保守・運用先以外からの調達が困難である。そのため、会計規程第23条第1項第1号の規定に基づき、随意契約としたい。

(2) 調達予定先

株式会社日立製作所

(3) 契約期間

契約締結日～2026年5月中旬

表 委託概要

件名	容量市場システム(実需給期間機能)における長期脱炭素電源オークション対応フェーズ1及び機能改修に係る基本設計業務委託
目的	長期脱炭素電源オークション制度への対応、及び業務処理の効率性や正確性の確保を目的とした機能拡張・改修を実施するための基本設計業務を行う。
委託内容	容量市場システム(実需給期間機能)における基本設計業務
委託先	株式会社日立製作所
契約期間	契約締結日～2026年5月中旬
契約形態	委託(請負)

以上

【添付資料】

別紙：容量市場システム(実需給期間機能)における長期脱炭素電源オークション対応フェーズ1及び機能改修に係る基本設計業務委託仕様書

※別紙は、情報管理規程第4条（情報の格付の区分）の規定に基づく秘密情報に該当するため、非公表とする。